

第一生命経済研究所のホームページご紹介

アドレス：<http://group.dai-ichi-life.co.jp/cgi-bin/dlri/top.cgi>（「第一生命経済研究所」で検索可能）
ホームページに登場したレポートテーマの一例をご紹介します。このほか数多くの詳細な経済分析レポートが掲載されていますので、経済研レポートと併せてご活用ください。

～足もとのわが国の景気が曲がり角を過ぎたことを指摘しています。

2012/10/12 「景気は既に後退局面入りの可能性大 ～輸出と自動車販売の動向次第で長期化のリスクも～」
掲載カテゴリ：日本経済分析チームによる「日本経済の羅針盤」

～デフレから抜け出せない日本経済のこれまで、これからについて述べています。

2012/10/25 「『日本化』現象をもう一度考えてみる（下編）～日本の経験に自分自身が何を学ぶか～」

2012/10/24 「『日本化』現象をもう一度考えてみる（上編）～財政再建と経済成長の二兎を追わざるを得ない～」

2012/10/19 「なぜ、リーマン危機前の水準に戻れないのか ～所得形成能力が低下している～」

掲載カテゴリ：熊野英生の「金融市場の謎を解く」

～穀物値上がりの物価への波及、日本の輸出仕向け先に生じている変化を分析しています。

2012/10/25 「米中向け輸出は再逆転の兆し ～中国・NIES・EUから米国・中東・ロシア・ASEANにシフトする輸出先～」

2012/10/1 「穀物価格が食料品価格に及ぼす影響 ～本格的な影響は来年度以降。円高で家計の負担増は年 3400 円程度～」
掲載カテゴリ：永濱利廣の「エコノミック・フォーカス」

～重債務国救済の協調に苦慮する欧州、景気悪化の波及に身構えるアジア新興国の今を伝えます。

2012/10/23 「欧州 首脳会議は消化試合、年末に向けて多くの課題が残る ～銀行直接注入、スペイン支援、統合強化の結論は先送り～」

2012/10/16 「欧州 ギリシャのユーロ離脱危機は遠退いたのか？ ～時間稼ぎもタダではできない～」

2012/10/26 「アジアで広がりつつある『通貨安競争』の動き ～インフレ率低下で利下げしやすい環境も後押し要因に～」

2012/10/19 「中国の景気底入れが確認される ～当面は景気拡大が続くも、日中関係悪化の長期化は新たなリスク～」

掲載カテゴリ：桂畑誠治・田中理の「欧米経済を探る」西濱徹の「アジア・新興諸国経済」

編集後記

エコノミストには、その仕事の場によってそれぞれ求められることがある。ただ経済の状況を正しく把握するという点は少なくとも共通していると思う。経済政策を病気の治療に例え、その診断を下すのがエコノミストの役割だという説明を聞いたこともある。経済予測は、さしずめ健康診断に基づき今後の健康状態のシミュレーションを描くということになるだろうか。

去る9月に発表された、日本経済研究センターの「ESPフォーキャスト調査（2011年度）の予測評価」において、新家主席エコノミストが総合成績優秀フォーキャスターに4年連続で選ばれた。日本経済には治療法について見解が分かれる慢性症状があるのだが、今年も本格的な治療にとりかかれぬまま歳を越すことになる。エコノミスト全員、来年も気を緩めずに生の経済と向き合っていきたい。（H. U）